

花

ひ

ら

く

ありがとう、
さようなら信濃美術館
休館前の最後の絵画展



フ

ラ

ン

ス

珠玉の名品

ミレー / コロー / シスレー / モネ



花ひらくフランス風景画

2017.4.15|土| — 6.18|日|

開館時間 9:00-17:00(入館は16:30まで) 毎週水曜日休館(ただし、5月3日開館)

観覧料=大人1,200(1,100)円、大学生1,000(900)円、高校生以下無料

※東山彫刻館改修前特別展「東山彫刻 永遠の風景」との共通券(4/15-5/30)=大人1,500円、大学生1,100円

※()内は20名以上の団体料金 ※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方、付き添い1名は無料

前売券 大人1,000円(販売は4月14日まで)

<プレイガイド>

ながの東急、ローソンチケット(Lコード34141)、セブン-イレブン、信濃毎日新聞販売店(お取り寄せ)

●問い合わせ(平日10時~17時) 信濃毎日新聞社事業部 TEL026-236-3399

主催=長野県、長野県信濃美術館、信濃毎日新聞社、(公財)信毎文化事業財団

共催=長野県教育委員会、長野放送 特別協力=山寺 後藤美術館、ヤマトロジスティクス株式会社

後援=長野市、長野市教育委員会、長野商工会議所、善光寺、長野県芸術文化協会、(公財)八十二文化財団、

(公財)ながの観光コンベンションビューロー、長野県美術教育研究会、JR東日本 長野支社

企画協力=産経新聞社、(株)デモアン

長野県信濃美術館

長野市稲清水1-4-4(善光寺東隣 城山公園内) TEL026-232-0052 <http://www.npsam.com>

風景画

自然の姿を見るままに描いた風景画はとても親しみやすいものです。しかし、フランスにおいてバルビゾン派や印象派の画家たちが活動を始めた頃は、風景画は世に認められませんでした。いま彼らは最も人気のある画家になっていますが、その登場から現在までの150年ほどの間に、作品を鑑賞する私たちの美意識や批評眼が大きく変わったことがわかります。西洋風景画の起源にさかのぼり、その展開をたどる本展は、バルビゾン派や印象派の魅力を再確認する試みでもあります。西洋風景画の展開の物語を彩る珠玉の名品の数々をご覧ください。

1 西洋風景画の起源

17世紀のフランスでは、絵画主題のヒエラルキー（階層）において、風景画は神話画や宗教画よりもずっと低い位置にありました。西洋風景画の起源は神話画や宗教画の背景に描かれていた風景描写にあるのです。



パウル・エミール・ヤークコプス《ディアナ》
1832年 山寺 後藤美術館

2 風景画の展開

18世紀末、神話画や宗教画の背景に描かれていた風景が次第に舞台の主役に躍り出てきます。画家が自分の目で見た自然を描写し、身の回りの人間風俗を記録するようになるのです。



ジョゼフ＝マラード＝ウィリアム・ターナー《ウスターシャーの眺め》
1794年 山寺 後藤美術館

3 近代風景画の誕生ーバルビゾン派とその周辺

19世紀半ば頃からフランス・パリ郊外のフォンテーヌブローの森の西北端にあるバルビゾン村に住みついて農村風景を描く一群の画家たちーバルビゾン派があらわれます。



ジャン＝バティスト＝カミユ・コロー
《サン＝ニコラ＝レ＝ザラスの川辺》1872年 山寺 後藤美術館



アルフレッド・シスレー《ロワン河畔、朝》1891年 ポーラ美術館

表面①ジャン＝フランソワ・ミレー《庭にて》(部分)1860-62年 山寺 後藤美術館/②ルイ＝ガブリエル＝ウジェーヌ・イザベイ《難破船》(部分)1856年 山寺 後藤美術館/③クロード＝モネ《アムステルダム港》1874年 ヤマザキマザック美術館/④ジャン＝バティスト＝カミユ・コロー《サン＝ニコラ＝レ＝ザラスの川辺》(部分)1872年 山寺 後藤美術館蔵/⑤エメ＝ベル《羊飼いの少女》(部分)制作年不詳 山寺 後藤美術館/⑥ウジェーヌ・ブーダン《トリスタン島の眺望、朝》1895年 ポーラ美術館/⑦ジャン＝バティスト＝カミユ・コロー《水車小屋のある水辺》1855-65年頃 山寺 後藤美術館

4 風景画の勝利ー印象派

19世紀後半に登場した印象派は風景画の分野でひとつの頂点を極めました。写生に基づいて戸外で制作しただけでなく、自然に近い光と色彩を求めて「色調の分割」という技法を編み出しました。

5 信州ゆかりの洋画家たちの風景画

明治以降、西洋の絵画が日本に紹介され、日本人画家が西洋絵画のスタイルで絵を描くようになります。本章では長野県信濃美術館収蔵作品の中からフランスを描いた洋画家の風景画をご紹介します。

イベント ※詳細は美術館までお問い合わせください。

■ 4月15日[土] 13:30-15:00 長野県信濃美術館3階講堂

講演会「西洋風景画の展開」 講師＝島田紀夫氏(美術評論家、前ブリヂストン美術館館長)

●申込＝不要 ●参加費＝無料(ただし観覧料は必要) ●手話通訳・要約筆記つき

ギャラリートーク(当館学芸員による展示解説) 毎週土曜日 13:30～(30分程度) ※4月15日を除く

●申込＝不要 ●参加費＝無料(ただし観覧料は必要)

ベビーカーツアー 5月11日[木]、6月8日[木] いずれも10:30-11:15

●参加費＝無料(ただし観覧料は必要) ●定員＝5組(先着、要申込み)

子育てママ・パパのためのギャラリーツアー。お子さん連れで作品鑑賞はいかがでしょう。

<同時開催> ■東山魁夷館改修前特別展 ※観覧料別途

「東山魁夷 永遠の風景 館蔵本制作一挙公開」3/30[木]-5/30[火](5/31から休館)

●公共交通機関でお越しの場合 JR長野駅・善光寺口バス乗場①からアルピコ交通バス「11」|「16」|「17」で「善光寺北」下車(所要時間約15分)、バス進行方向の城山公園奥。

●お車で越しの場合 上信越自動車道「長野I.C.」または「須坂長野東I.C.」から、善光寺を目標に約30分。※東山魁夷館駐車場もご利用いただけます。

※駐車場には限りがあります。 ※車いす・ベビーカー等をご使用の方は、東山魁夷館駐車場及び東山魁夷館入口をご利用いただくとスムーズに入館できます。



シャルル＝エミール＝ジャック《月夜の羊飼いの(帰路)》
制作年不詳 山寺 後藤美術館



長野県信濃美術館

HP <http://www.npsam.com>

スマートフォン <http://www.npsam.com/sp/>

〒380-0801 長野市箱清水 1-4-4 (善光寺東隣 城山公園内)

TEL.026-232-0052 FAX.026-232-0050

メール npsam@coral.ocn.ne.jp

Facebook URL

<http://www.facebook.com/npsam.kaii>



無料駐車場140台